






重要種の位置については、情報漏洩防止の為非公開とする。

凡例

-  対象事業実施区域
-  行政区域
-  改変区域
-  鳥類調査範囲
-  サンコウチョウ

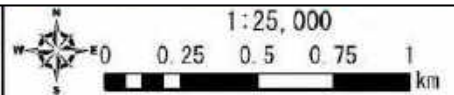


図 7.6-21
重要な鳥類の確認位置
(サンコウチョウ)

②希少猛禽類調査で確認されたタカ目

希少猛禽類調査で確認されたタカ目は、表 7.6-37 に示すとおりである。

1 目 2 科 9 種の重要な鳥類（希少猛禽類調査で確認されたタカ目）が確認された。重要な鳥類（希少猛禽類調査で確認されたタカ目）の確認状況等は表 7.6-38 及び表 7.6-39 に、確認位置は図 7.6-22～図 7.6-30 に示すとおりである。

表 7.6-37 重要な鳥類（希少猛禽類調査で確認されたタカ目）

No.	目名	科名	種名	重要種選定基準				
				1	2	3	4	5
1	タカ目	タカ科	ミサゴ				NT	NT
2			ハチクマ				NT	NT
3			オオタカ				NT	VU
4			ツミ					VU
5			ハイタカ				NT	NT
6			ノスリ					NT
7			サシバ				VU	VU
8			クマタカ		国内		EN	EN
9		ハヤブサ科	ハヤブサ		国内		VU	VU
合計	1 目	2 科	9 種	0 種	2 種	0 種	7 種	9 種

表 7.6-38 重要な鳥類（希少猛禽類調査で確認されたタカ目）の確認概要（平成 29 年）






No.	種名	確認回数（単位：回）												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
1	ミサゴ			1				1						2
2	ハチクマ					1	2	9	15	6				33
3	オオタカ	4	3	1								1		9
4	ツミ								1					1
5	ハイタカ	11	9	6							5	7	4	42
6	ノスリ	9	14	9	2						6	1	3	44
7	サシバ				53	42	57	50	25	10				237
8	クマタカ	6	5	3	2					2			1	19
9	ハヤブサ		1	2						1				4
合計		30	32	22	57	43	59	60	41	19	11	9	8	391

表 7.6-39 重要な鳥類（希少猛禽類調査で確認されたタカ目）の確認状況

確認種	確認状況等	備考
ミサゴ	3月調査及び7月調査で合計2例が確認されている。確認例数が少ないことから、対象事業実施区域及びその周辺を主要な生息地とするものではないと考えられる。	図 7.6-22
ハチクマ	5月調査から9月調査にかけて合計33例が確認されている。複数個体が対象事業実施区域及びその周辺で活動している。巣材運びやディスプレイ飛行が確認されたが、餌運びは確認されていない。このため、今繁殖期において対象事業実施区域及びその周辺では繁殖していないと考えられる。	図 7.6-23
オオタカ	1月調査から3月調査にかけて合計7例が確認されている。2月には成鳥オスによるディスプレイ飛行（深い羽ばたきと下尾筒広げ）が確認されたが、4月以降確認されていない。このため、今繁殖期において対象事業実施区域及びその周辺では繁殖していないと考えられる。	図 7.6-24
ツミ	8月調査で1例が確認されている。確認例数が少ないことから、対象事業実施区域及びその周辺を主要な生息地とするものではないと考えられる。	図 7.6-25
ハイタカ	1月調査から3月調査にかけてと10月調査から12月調査にかけて確認されている。繁殖に係わる行動は確認されておらず、確認記録はいずれも越冬個体（当該地域では繁殖しない）であるとされる。	図 7.6-26
ノスリ	1月調査から4月調査にかけてと10月調査から12月調査にかけて確認されている。繁殖に係わる行動は確認されておらず、確認記録はいずれも越冬個体（当該地域では繁殖しない）であるとされる。	図 7.6-27
サシバ	4月調査から9月調査にかけて確認されている。確認例数が多く、複数個体が対象事業実施区域及びその周辺で活動している。繁殖に係わる行動（求愛給餌、餌運び）やテリトリーを誇示する行動（同種他個体またはクマタカやカラスに対する追い出し行動、ディスプレイ飛行等）も観察されている。6月の調査において林内を踏査した結果、対象事業実施区域内の1地点、対象事業実施区域外の3地点で本種の営巣が確認された。対象事業実施区域内の1地点は、改変区域に近接する。	図 7.6-28
クマタカ	1月調査から4月調査にかけて合計16例が確認されている。主に大峠山周辺で成鳥や若鳥が確認された。確認例数が少なく、繁殖に係わる行動も確認されていない。このことから、今繁殖期において調査地域内では繁殖していないが、対象事業実施区域及びその周辺を行動範囲の一部としている可能性はあると考えられる。	図 7.6-29
ハヤブサ	2月調査、3月調査、9月調査で合計4例が確認されている。確認例数が少ないことから、対象事業実施区域及びその周辺を主要な生息地とするものではないと考えられる。	図 7.6-30

重要種の位置については、情報漏洩防止の為非公開とする。

凡例

-  対象事業実施区域
-  行政区域
-  改変区域
-  希少猛禽類調査範囲(500m)
-  ミサゴ

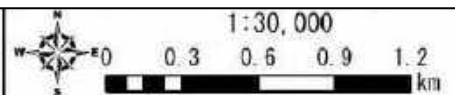







図 7.6-22

重要な鳥類（希少猛禽類調査で確認されたタカ目）の確認位置（ミサゴ）

重要種の位置については、情報漏洩防止の為非公開とする。

凡例

-  対象事業実施区域
-  行政区域
-  改変区域
-  希少猛禽類調査範囲(500m)
-  ハチクマ

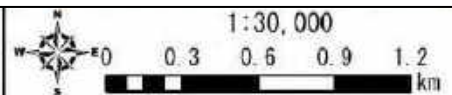








図 7.6-23

重要な鳥類（希少猛禽類調査で確認されたタカ目）の確認位置（ハチクマ）

重要種の位置については、情報漏洩防止の為非公開とする。

凡例

-  対象事業実施区域
-  行政区域
-  改変区域
-  希少猛禽類調査範囲(500m)
-  オオタカ
-  オオタカ

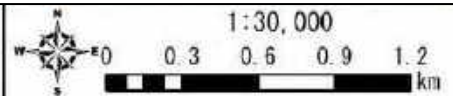







図 7.6-24

重要な鳥類（希少猛禽類調査で確認されたタカ目）の確認位置（オオタカ）

重要種の位置については、情報漏洩防止の為非公開とする。

凡例

-  対象事業実施区域
-  行政区域
-  改変区域
-  希少猛禽類調査範囲(500m)
-  ツミ

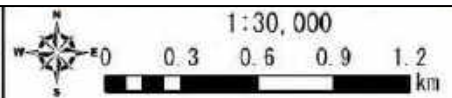








図 7.6-25

重要な鳥類（希少猛禽類調査で確認されたタカ目）の確認位置（ツミ）

重要種の位置については、情報漏洩防止の為非公開とする。

凡例

-  対象事業実施区域
-  行政区域
-  改変区域
-  希少猛禽類調査範囲(500m)
-  ハイタカ
-  ハイタカ

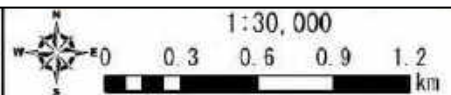








図 7.6-26

重要な鳥類（希少猛禽類調査で確認されたタカ目）の確認位置（ハイタカ）

重要種の位置については、情報漏洩防止の為非公開とする。

凡例

-  対象事業実施区域
-  行政区域
-  改変区域
-  希少猛禽類調査範囲(500m)
-  ノスリ
-  ノスリ

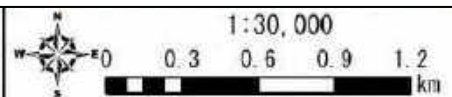









図 7.6-27

重要な鳥類（希少猛禽類調査で確認されたタカ目）の確認位置（ノスリ）

重要種の位置については、情報漏洩防止の為非公開とする。

凡例

-  対象事業実施区域
-  行政区域
-  改変区域
-  希少猛禽類調査範囲(500m)
-  営巣木
-  サシバ
-  サシバ

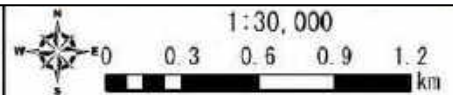








図 7.6-28

重要な鳥類（希少猛禽類調査で確認されたタカ目）の確認位置（サシバ）

重要種の位置については、情報漏洩防止の為非公開とする。

凡例

-  対象事業実施区域
-  行政区域
-  改変区域
-  希少猛禽類調査範囲(500m)
-  クマタカ
-  クマタカ

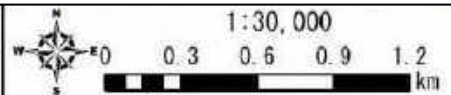







図 7.6-29

重要な鳥類（希少猛禽類調査で確認されたタカ目）の確認位置（クマタカ）

重要種の位置については、情報漏洩防止の為非公開とする。

凡例

-  対象事業実施区域
-  行政区域
-  改変区域
-  希少猛禽類調査範囲(500m)
-  ハヤブサ

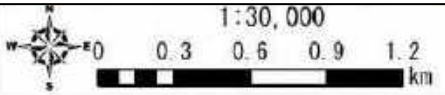


図 7.6-30
重要な鳥類（希少猛禽類調査で確認されたタカ目）の確認位置（ハヤブサ）

ウ) 爬虫類

重要な爬虫類は、表 7.6-40 に示すとおりである。

1 目 1 科 1 種の重要な爬虫類が確認された。

重要な爬虫類の確認状況等は表 7.6-41、確認位置は図 7.6-31 に示すとおりである。

表 7.6-40 重要な爬虫類






No.	目名	科名	種名	対象事業実施区域			重要種選定基準				
				内		外	1	2	3	4	5
				変更区域							
				内	外						
1	カメ目	イシガメ科	ニホンイシガメ	○	○	○				NT	NT
合計	1 目	1 科	1 種	1 種	1 種	1 種	0 種	0 種	0 種	1 種	1 種

表 7.6-41 重要な爬虫類の確認状況

確認種	確認状況等	備考
ニホンイシガメ	直接観察、任意採取、その他の項目の調査時により、対象事業実施区域内の 4 地点で合計 6 個体、対象事業実施区域外の 2 地点で合計 2 個体が確認された。対象事業実施区域内の 4 地点のうち、1 地点合計 2 個体が変更区域内で確認された。	図 7.6-31

重要種の位置については、情報漏洩防止の為に非公開とする。

凡例

-  対象事業実施区域
-  行政区域
-  改変区域
-  爬虫類調査範囲
-  ニホンイシガメ

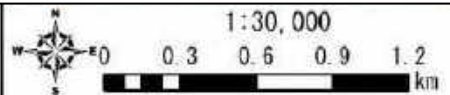


図 7.6-31

重要な爬虫類の確認位置
(ニホンイシガメ)

エ)両生類

重要な両生類は、表 7.6-42 に示すとおりである。

2 目 3 科 3 種の重要な両生類が確認された。そのうち、対象事業実施区域で確認されたものは 2 種であった。

重要な両生類の確認状況等は表 7.6-43、確認位置は図 7.6-32～図 7.6-34 に示すとおりである。

表 7.6-42 重要な両生類






No.	目名	科名	種名	対象事業実施区域			重要種選定基準				
				内		外	1	2	3	4	5
				変更区域							
				内	外						
1	有尾目	サンショウウオ科	オオイタサンショウウオ	○	○	○				VU	VU
2	有尾目	イモリ科	アカハライモリ	○	○	○				NT	
3	無尾目	ヒキガエル科	ニホンヒキガエル			○					NT
合計	1 目	3 科	3 種	2 種	2 種	3 種	0 種	0 種	0 種	2 種	2 種

表 7.6-43 重要な両生類の確認状況

確認種	確認状況等	備考
オオイタサンショウウオ	直接観察、任意採取により、対象事業実施区域内の 10 地点で合計卵囊 76 個、幼生 6 個体、幼体 2 個体、成体 2 個体、対象事業実施区域外の 14 地点で合計卵囊 57 個、幼体 19 個体、成体 4 個体が確認された。対象事業実施区域内の 10 地点のうち、4 地点合計卵囊 5 個、幼生 6 個体、幼体 2 個体が変更区域内で確認された。	図 7.6-32
アカハライモリ	直接観察、任意採取、その他の項目の調査時により、対象事業実施区域内の 5 地点で幼体 1 個体、成体 7 個体、対象事業実施区域外の 3 地点で成体 3 個体が確認された。対象事業実施区域内の 5 地点のうち、3 地点合計幼体 1 個体、成体 5 個体が変更区域内で確認された。	図 7.6-33
ニホンヒキガエル	直接観察、任意採取により、対象事業実施区域外の 1 地点で合計成体 1 個体、卵塊 30 個が確認された。変更区域内及び対象事業実施区域内では確認されなかった。	図 7.6-34

重要種の位置については、情報漏洩防止の為非公開とする。

凡例

-  対象事業実施区域
-  行政区域
-  改変区域
-  両生類調査範囲
-  オオイタサンショウウオ

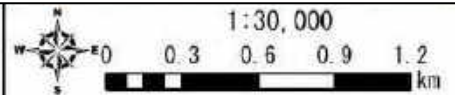


図 7.6-32

重要な両生類の確認位置
(オオイタサンショウウオ)

重要種の位置については、情報漏洩防止の為非公開とする。

凡例

-  対象事業実施区域
-  行政区域
-  改変区域
-  両生類調査範囲
-  アカハライモリ

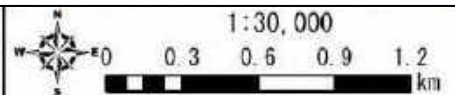







図 7.6-33
重要な両生類の確認位置
(アカハライモリ)

重要種の位置については、情報漏洩防止の為非公開とする。

凡例

-  対象事業実施区域
-  行政区域
-  改変区域
-  両生類調査範囲
-  ニホンヒキガエル

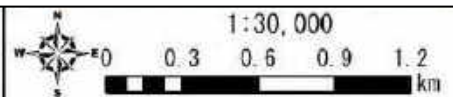


図 7.6-34
重要な両生類の確認位置
(ニホンヒキガエル)

オ)昆虫類

重要な昆虫類は、表 7.6-44 に示すとおりである。

5目6科7種の重要な昆虫類が確認された。

重要な昆虫類の確認状況等は表 7.6-45、確認位置は図 7.6-35～図 7.6-41 に示すとおりである。

表 7.6-44 重要な昆虫類





No.	目名	科名	種名	対象事業実施区域			重要種					
				内		外	1	2	3	4	5	
				変更区域								
				内	外							
1	トンボ目 (蜻蛉目)	サナエトンボ科	タバサナエ		○	○					NT	
2	チョウ目 (鱗翅目)	シロチョウ科	ツマグロキチョウ			○					EN	NT
3	ハエ目 (双翅目)	ツリアブ科	クロバネツリアブ		○	○						NT
4		ハナアブ科	ベッコウハナアブ	○		○						NT
5	コウチュウ目 (鞘翅目)	コガネムシ科	ゴホンダイコクコガネ	○								NT
6	ハチ目 (膜翅目)	スズメバチ科	ヤマトアシナガバチ		○	○						DD
7			モンスズメバチ			○						DD
合計	6目	7科	8種	2種	3種	6種	0種	0種	0種	4種	4種	

表 7.6-45 重要な昆虫類の確認状況

確認種	確認状況等	備考
タバサナエ	直接観察、任意採取により、対象事業実施区域内の1地点で合計1個体、対象事業実施区域外の2地点で合計4個体が確認された。変更区域内では確認されなかった。	図 7.6-35
ツマグロキチョウ	直接観察、任意採取により、対象事業実施区域外の1地点で合計1個体が確認された。変更区域及び対象事業実施区域内では確認されなかった。	図 7.6-36
クロバネツリアブ	直接観察、任意採取により、対象事業実施区域内の2地点で合計2個体、対象事業実施区域外の2地点で合計7個体が確認された。変更区域内では確認されなかった。	図 7.6-37
ベッコウハナアブ	直接観察、任意採取により、対象事業実施区域内の1地点で合計1個体、対象事業実施区域外の1地点で合計1個体が確認された。対象事業実施区域内の1地点は、変更区域内である。	図 7.6-38
ゴホンダイコクコガネ	ライトトラップにより、対象事業実施区域内の1地点で合計2個体が確認された。対象事業実施区域内の1地点は、変更区域内である。	図 7.6-39
ヤマトアシナガバチ	直接観察、任意採取により、対象事業実施区域内の3地点で合計3個体、対象事業実施区域外の4地点で合計4個体が確認された。変更区域内では確認されなかった。	図 7.6-40
モンスズメバチ	直接観察、任意採取により、対象事業実施区域外の1地点で合計1個体が確認された。変更区域及び対象事業実施区域内では確認されなかった。	図 7.6-41

重要種の位置については、情報漏洩防止の為非公開とする。

凡例

-  対象事業実施区域
-  行政区域
-  改変区域
-  昆虫類調査範囲
-  タベサナエ

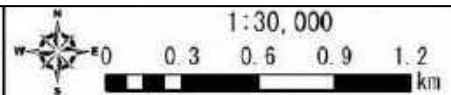







図 7.6-35
重要な昆虫類の確認位置
(タベサナエ)

重要種の位置については、情報漏洩防止の為非公開とする。

凡例

-  対象事業実施区域
-  行政区域
-  改変区域
-  昆虫類調査範囲
-  ツマグロキチョウ

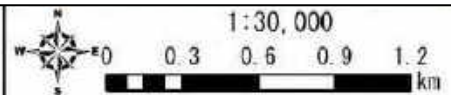







図 7.6-36
重要な昆虫類の確認位置
(ツマグロキチョウ)

重要種の位置については、情報漏洩防止の為非公開とする。

凡例

-  対象事業実施区域
-  行政区域
-  改変区域
-  昆虫類調査範囲
-  クロバネツリアブ

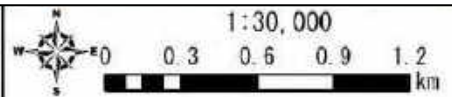







図 7.6-37

重要な昆虫類の確認位置
(クロバネツリアブ)

重要種の位置については、情報漏洩防止の為非公開とする。

凡例

-  対象事業実施区域
-  行政区域
-  改変区域
-  昆虫類調査範囲
-  ベッコウハナアブ

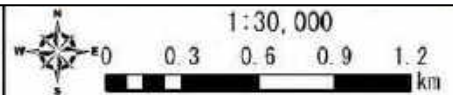







図 7.6-38
重要な昆虫類の確認位置
(ベッコウハナアブ)

重要種の位置については、情報漏洩防止の為非公開とする。

凡例

-  対象事業実施区域
-  行政区域
-  改変区域
-  昆虫類調査範囲
-  ゴホンダイコクコガネ

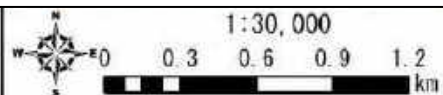







図 7.6-39
重要な昆虫類の確認位置
(ゴホンダイコクコガネ)

重要種の位置については、情報漏洩防止の為非公開とする。

凡例

-  対象事業実施区域
-  行政区域
-  改変区域
-  昆虫類調査範囲
-  ヤマトアシナガバチ

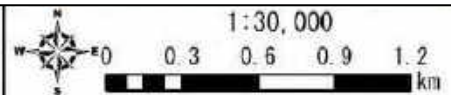



図 7.6-40

重要な昆虫類の確認位置
(ヤマトアシナガバチ)

重要種の位置については、情報漏洩防止の為非公開とする。

凡例

-  対象事業実施区域
-  行政区域
-  改変区域
-  昆虫類調査範囲
-  モンスズメバチ

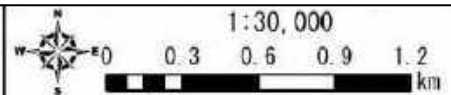


図 7.6-41

重要な昆虫類の確認位置
(モンスズメバチ)

ア) 魚類

重要な魚類は表 7.6-46 に示すとおりである。

2 目 2 科 2 種の重要な魚類が確認された。

重要な魚類の確認状況等は表 7.6-47、確認位置は図 7.6-42～図 7.6-43 に示すとおりである。

表 7.6-46 重要な魚類






No.	目名	科名	和名	対象事業実施区域			重要種選定基準				
				内		外	1	2	3	4	5
				変更区域							
				内	外						
1	コイ目	ドジョウ科	ドジョウ		○	○				DD	
2	ダツ目	メダカ科	ミナミメダカ	○	○					VU	
合計	2 目	2 科	2 種	1 種	2 種	1 種	0 種	0 種	0 種	2 種	0 種

表 7.6-47 重要な魚類の確認状況

確認種	確認状況等	備考
ドジョウ	任意採取により、対象事業実施区域内の 1 地点で合計 1 個体、対象事業実施区域外の 2 地点で合計 4 個体が確認された。変更区域内では確認されなかった。	図 7.6-42
ミナミメダカ	任意採取により、対象事業実施区域内の 3 地点で合計 96 個体が確認された。対象事業実施区域内の 3 地点のうち、1 地点合計 28 個体が変更区域内で確認された。	図 7.6-43

重要種の位置については、情報漏洩防止の為非公開とする。

凡例

-  対象事業実施区域
-  行政区域
-  改変区域
-  魚類調査範囲
-  ドジョウ

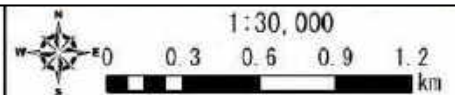



図 7.6-42
重要な魚類の確認位置
(ドジョウ)

重要種の位置については、情報
漏洩防止の為非公開とする。

凡例

-  対象事業実施区域
-  行政区域
-  改変区域
-  魚類調査範囲
-  ミナミメダカ

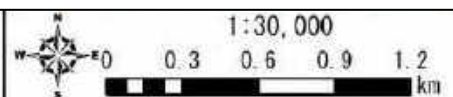


図 7.6-43
重要な魚類の確認位置
(ミナミメダカ)

イ)底生動物

重要な底生動物は、表 7.6-48 に示すとおりである。

3 目 3 科 3 種の重要な底生動物が確認された。

重要な底生動物の確認状況等は表 7.6-49、確認位置は図 7.6-44～図 7.6-46 に示すとおりである。

表 7.6-48 重要な底生動物

No.	目名	科名	種名	対象事業実施区域			重要種選定基準				
				内		外	1	2	3	4	5
				変更区域							
				内	外						
1	新生腹足目	タニシ科	マルタニシ	○	○				VU	NT	
2	カメムシ目 (半翅目)	コオイムシ科	コオイムシ		○				NT	VU	
3	コウチュウ目 (鞘翅目)	ゲンゴロウ科	コガタノゲンゴロウ		○				VU	VU	
合計	3 目	3 科	3 種	1 種	3 種	0 種	0 種	0 種	0 種	3 種	3 種

表 7.6-49 重要な底生動物の確認状況

確認種	確認状況等	備考
マルタニシ	任意採取により、対象事業実施区域内の 2 地点で合計 4 個体が確認された。対象事業実施区域内の 2 地点のうち、1 地点合計 3 個体が変更区域内で確認された。	図 7.6-44
コオイムシ	任意採取により、対象事業実施区域内の 2 地点で合計 2 個体が確認された。変更区域内では確認されなかった。	図 7.6-45
コガタノゲンゴロウ	任意採取により、対象事業実施区域内の 2 地点で合計 3 個体が確認された。変更区域内では確認されなかった	図 7.6-46